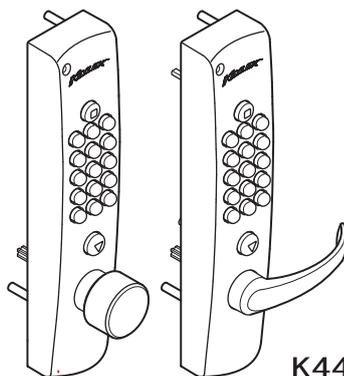


KEYLEX[®] 4000 Prime

KL4000
自動施錠
両面ボタンタイプ

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



K443
K443M
K463
K463M

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

キーレックス 4000 Prime シリーズ 保証書

お買い上げ日から1年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障、又は本証のお買い上げ日及び販売店名の欄に記入がない場合は、
保証期間内でも有料修理になります。

機種名： **キーレックス 4000 Prime** K463, K463M

お買い上げ日： 年 月 日 保証期間：お買い上げ日より1年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.

検印



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

基本操作

ご使用前に確認してください

- ① 登録している記憶番号
- ② 錠のデッドラッチの赤丸が見えない
(見えている場合は、レバー (ノブ) を操作して、デッドラッチを正常位置に戻す)
- ③ レバーハンドルが真横になっている
(真横になっていない場合は、4 ページの **レバーハンドルの位置が正常でない時** を参照)

解錠：リセットボタンを押す (誤操作の記憶番号を解除)

現在の記憶番号を押す
 エンターボタンを押す
 (正しい記憶番号を押すと、押されたまま止まります)
 レバー (ノブ) 操作で開扉できます
 (エンターボタンは元の位置に戻ります)

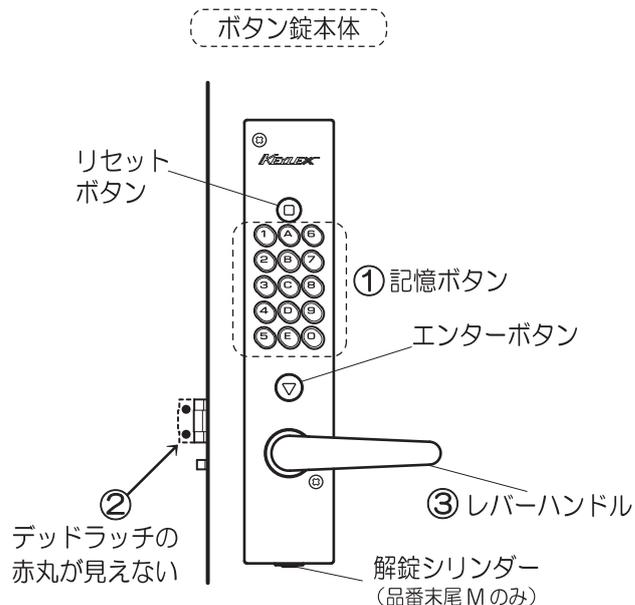
※ボタンを押しながらのレバー (ノブ) 操作はしないでください

※鍵付タイプ (品番末尾 M) の場合は、記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも開扉できます。

I：キーをシリンダーに入れ回す
 (デッドラッチのみが引き込まれる)

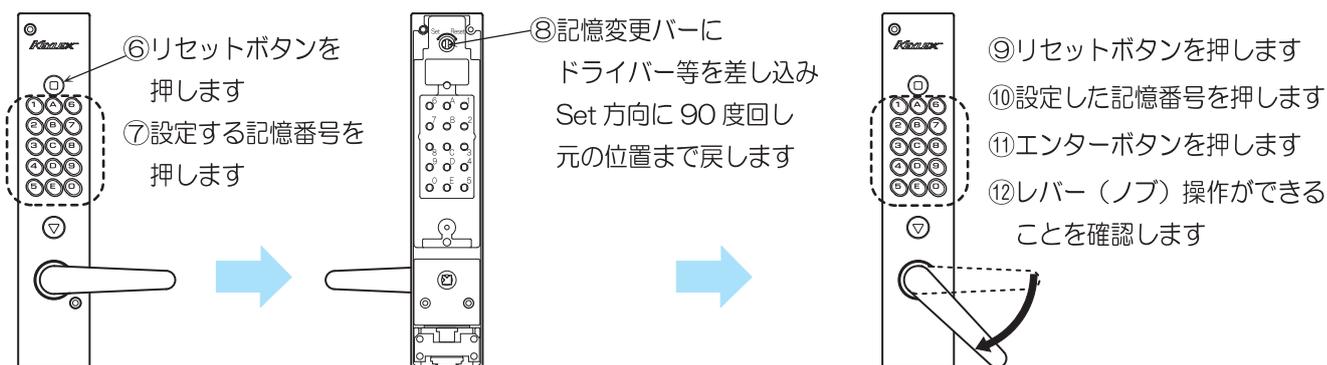
II：キーを回したまま (戻さずに)、
 レバー (ノブ) を引いて (外開き時) 開扉する

施錠：扉を閉めると施錠されます

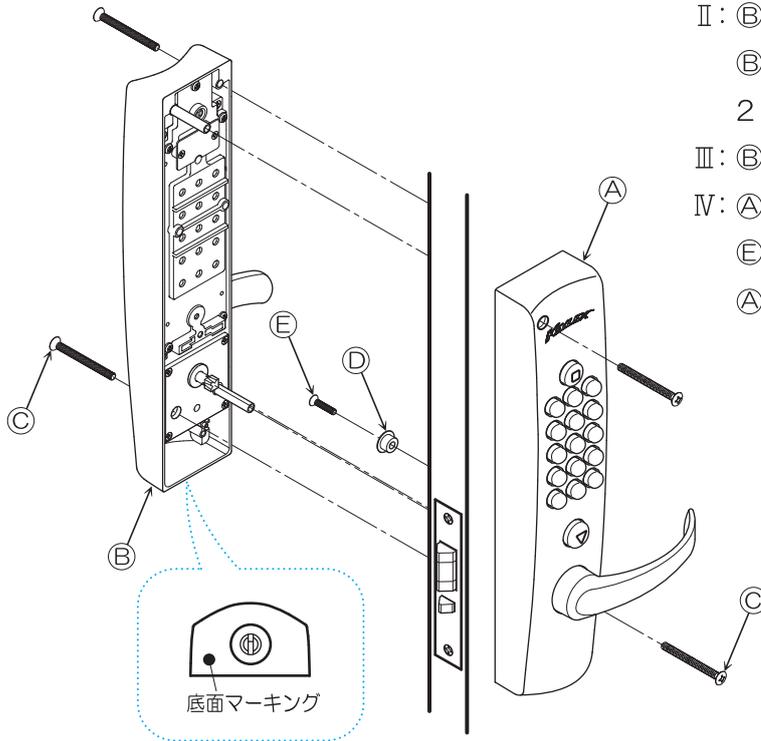


記憶番号の変更方法 扉から取り外して記憶番号の変更をします

【記憶番号 変更方法】



取り外し方法

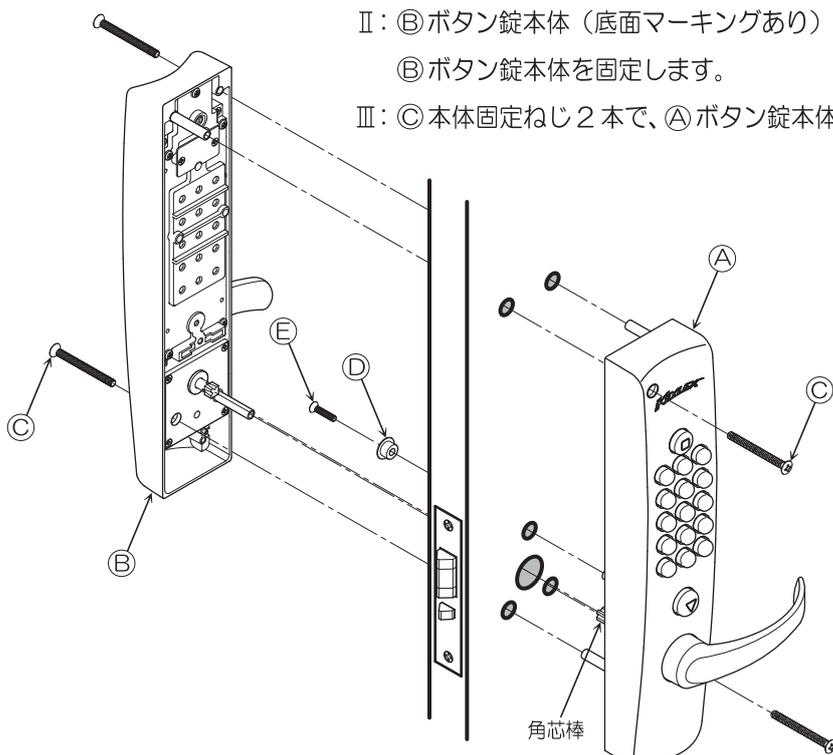


- I: 本体底面を確認し、Ⓐ ボタン錠本体（底面マーキングなし）側の
Ⓒ 本体固定ねじ 2 本を外します。
- II: Ⓑ ボタン錠本体（底面マーキングあり）の落下に注意しながら
Ⓑ ボタン錠本体（底面マーキングあり）側の Ⓒ 本体固定ねじ
2 本を外します。
- III: Ⓑ ボタン錠本体（底面マーキングあり）を扉から外します。
- IV: Ⓐ ボタン錠本体（底面マーキングなし）の落下に注意しながら
Ⓔ 本体仮止めねじ、Ⓓ 錠両面用ねじ受けを外し
Ⓐ ボタン錠本体（底面マーキングなし）を外します。

本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

取付方法

- I: レバーハンドルは向きに注意しながら、Ⓐ ボタン錠本体（底面マーキングなし）をセットし
Ⓓ 両面用ねじ受けと、Ⓔ 本体仮止めねじで固定します。
- II: Ⓑ ボタン錠本体（底面マーキングあり）を反対側にセットし、Ⓒ 本体固定ねじ 2 本で
Ⓑ ボタン錠本体を固定します。
- III: Ⓒ 本体固定ねじ 2 本で、Ⓐ ボタン錠本体を固定します。扉を閉める前に作動確認をしてください。

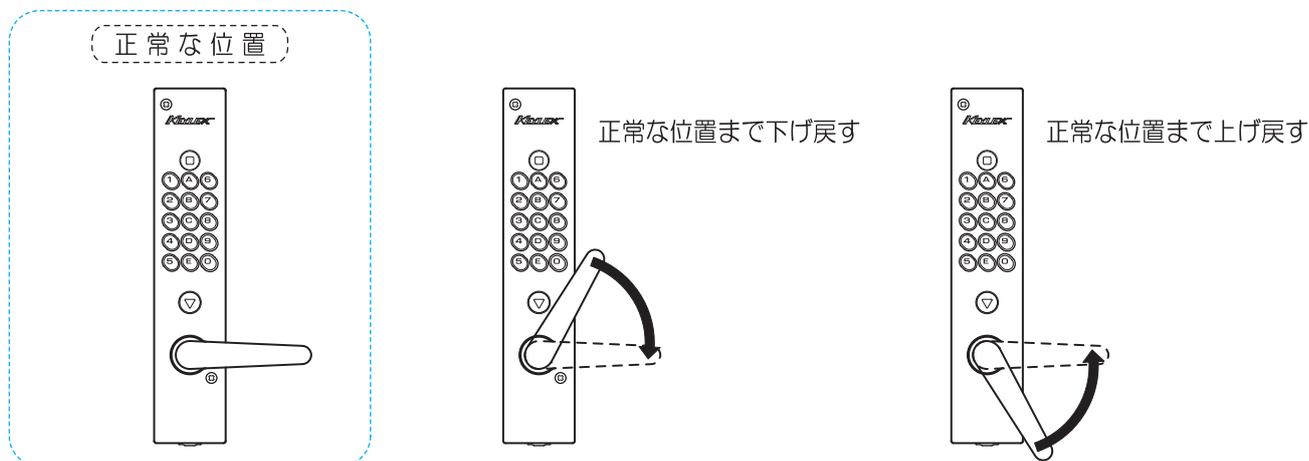


本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

レバーハンドルの位置が正常でない時

レバーハンドルの位置が、下図になった時は、正常な位置に戻します。

レバーハンドルに『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にレバーハンドル操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して、下（上）位置でとまります。故障ではありません。



記憶番号設定に関するご注意

- KL4000 は 1 ～ 15 桁まで任意の記憶番号（組み合わせ：32,768 通り）を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的な増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - レバーハンドルにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - デッドラッチを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - エンターボタンを押しながら、レバーハンドル（ノブ）の操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑剤使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの納まりや開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。